

# 半導体業界のライオンズ・シエアーを目指して

## 凜然として神楽坂からの挑戦

アンカー・ビジネス・システムズ(株) 代表取締役社長

永田 隆一



—26—

の分野が重点分野と考えます。

《日本のサービス産業に喝!》

さて、日本の就業者数は、約六〇〇万人ですが、その内訳は、

サービス産業	六六%
製造業	一八・八%
農林水産業	五・七%
その他	九・八%

ここで、生産性というものをさして、アメリカを

明です。医療福祉サービスは、米国三二九万人増

V S日本八八万人増。ビジネス支援サービスは、

米国二四二万人増V S日本五九万人増。コミュニケーション・インフォメーション・サービス業では、米国三二〇万人増V S日本一一人増。(データは、米国労働省)

《エクスキューズ》  
《会計コンサルの事例》

弊社は、起業五年目を迎えますが、起業時に外

るなどの回避策もござい

ます。また、『日本企業は、何でも自前主義で行

い外部の専門家を採用しない』という声もござい

ますが、これもエクスキューズ(言い訳)でしか

ございけません。結果を出すことができれば状況は一変いたします。

六〇固定へ一年前に切り替える事ができました。

また、昨秋の弊社初の

税務調査もほぼ一日で終了し、とてもスムーズでありました。やはり、も

ちは餅屋でございます。充分費用以上の価値をいただいております。

《水と安全と情報は只?》

縁がなかったとつこり

微笑みさよならするべき

であります。結果に対するフェアな評価がなかったりしますと、社員のモチベーションは大きく

低下いたします。顧客を選ぶからこそ、当方も選ばれるわけでございます。

気に入っていただけ

# サービス産業の生産性向上で『パクス・ジャポネ』時代を

『現在、日本経済は、民

需主導の巡航速度(一番

燃料を節約できる速度)

での成長を続けている』

との表現を新聞各紙は用

いています。確かに、G

DPは成長し、失業率も

低く安定しております。

しかし、実態をデータ

から深読みしますと、『一

部の国際競争力を有する

製造業が、中国を始めと

した海外の市場で売上が

継続して伸ばしているが

故の成長』と総括しても

間違いはないと思いま

す。その背景には、大きな

危機が潜んでいます。先

進国の傾向として、就業

者数は、製造業からサー

ビス業への移行が進み、

かつ製造業もサービス業

も生産性の向上を継続し

ています。日本は、サー

ビス産業の生産性の向上

をめざし、海外へも打っ

て出る企業をつくる事

で、活力ある国民意識が

生まれ、多様性を有する

労働市場を提供でき、さ

らに、本人が気づいてい

ない優秀なビジネスマン

が、自分の才能に出会う

事が増えて、幸せを実感

できる国民が増加する

と、直観いたします。

現在の好景気は、一部

の製造業の輸出が増えた

結果であります。輸出先

は、アメリカ、中国、韓国、

台湾、香港のトップ5で

外で活躍する企業数は驚

きを禁じえない少なさで

す。一〇年後の日本は、サ

ービス産業の輸出増加に

よるGDPの安定成長で

『パクス・ジャポネ

(日本による平和)』の時

代をめざす戦略が重要で

すが、日本政府は気づい

てもいないのが現状で

す。

ビジネス支援・情報技

術IT・セキュリティ・

医療福祉・環境・教育等

しますと、これもまた鮮

業について見てみます。

ちなみに、弁護士の数

部は、米国の二倍の金

額で総括的に支援してい

ただいております。結果

米国の二倍の金額で総括的に支援して

ただいております。結果

として、アドバースに従

い、東京都の経営革新認

定を取り、J信用金庫よ

り驚くほど低金利融資を

実現し、併せて私個人の

住宅ローンも二・三%の

都銀から、一〇年固定一

・〇%、一一年以降一

・〇%、一一年以降一

・〇%、一一年以降一

・〇%、一一年以降一

・〇%、一一年以降一

・〇%、一一年以降一

『ロハでお願いします』

顧客を徹底して大事にす

る事は、とても重要です。

福澤諭吉は、『Fre

e』を『御免』と邦訳し

ました。後に『自由』と

改めましたが、これから

の日本は、サービス産業

が、顧客の話を聞きに行

き、御免と海外へもアリ

トリーを広げていく気概

が必要であり、かつ重要

と考えます。

と考えます。

と考えます。

と考えます。

と考えます。

と考えます。

長居は無用であります。

(隔週掲載)